2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月９日

上場会社名　　セントラルスポーツ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　4801　　ＵＲＬ　https://www.central.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　執行役員　　（氏名）後藤　聖治
問合せ先責任者　（役職名）執行役員経理部長　　（氏名）安部　宏　　ＴＥＬ　03-5543-1801
半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　2026年12月１日
決算補足説明資料作成の有無：　有
決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	24,387	0.4	1,558	33.0	1,383	44.8	1,172	102.9
2026年３月期中間期	24,301	5.2	1,171	69.9	955	103.0	578	△36.0

（注）包括利益　　2027年３月期中間期　　1,245百万円（161.7%）　　2026年３月期中間期　　475百万円（△54.7%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	104.72	―
2026年３月期中間期	51.61	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	43,475	27,633	63.6	2,467.14
2026年３月期	42,284	26,612	62.9	2,375.96

（参考）自己資本　　2027年３月期中間期　　27,633百万円　　2026年３月期　　26,612百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	20.00	―	20.00	40.00
2027年３月期	―	20.00			
2027年３月期（予想）			―	20.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,500	3.3	3,150	17.5	2,700	19.6	1,470	14.4	131.24

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：　無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	11,466,300株	2026年３月期	11,466,300株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	265,687株	2026年３月期	265,687株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	11,200,613株	2026年３月期中間期	11,200,613株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

業績予想の前提条件及びその他関連する事項については、第２四半期（中間期）決算短信（添付資料）２ページ「１．当中間決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）中間連結貸借対照表 …… 3
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 5
中間連結損益計算書 …… 5
中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、高い水準の賃上げの継続により実質賃金が底堅く推移し、所得環境の改善を背景とした個人消費の持ち直しの動きが見られました。一方で、為替相場の変動や原材料価格の高止まりによる懸念は依然として残るものの、経済活動の正常化が進み、緩やかな回復基調で推移いたしました。

フィットネス業界におきましては、消費者の健康意識の定着に加え、利便性の高い小型店舗業態の拡大や多様なニーズに応えるサービスの普及を背景に、市場全体として回復傾向が続いております。

このような環境下、当社グループは、経営理念である「０歳から一生涯の健康づくりに貢献する」のもと、「理想とするウェルネスカンパニーへ」という目標を掲げ、接客力・指導力・施設美化のさらなる強化に注力するとともに、安心・安全で快適な施設運営に努めてまいりました。

店舗展開におきましては、４月に業務受託施設「六甲アイランドフットサルパーク・屋外型プール施設デカパトス」（兵庫県神戸市東灘区）、７月に直営店「セントラルフィットネスクラブ24千葉ニュータウン店」（千葉県印西市）の２店舗の運営を開始いたしました。一方で、４月末に業務受託施設「BIOSPHERE WELLNESS CLUB」（兵庫県神戸市東灘区）、６月末に直営店「セントラルスポーツジムスタ伊勢原駅前店」（神奈川県伊勢原市）、７月末に直営店「セントラルフィットネスクラブ西台店」（東京都板橋区）の計３店舗の運営を終了いたしました。この結果、当中間連結会計期間末の店舗数は、直営186店舗、業務受託66店舗の合計252店舗となっております。

店舗運営におきましては、新規会員の獲得および既存会員の継続率向上に取り組むとともに、顧客満足度のさらなる向上を目指し、日本最大級のインドアバイク・フィットネスライブイベント「Lesson in Japan EPIC RIDE EXTRA 2026 ″THE BIG BANG″」を国内外トップアーティストのライブも行われる豊洲PITにて初めて開催いたしました。

また、創業理念である「世界に通用するアスリートの育成」の一環として、所属選手の活動に注力しております。本年10月にオランダで開催された第54回世界体操競技選手権大会におきましては、橋本大輝選手および土井陵輔選手が男子団体総合で金メダルを獲得し日本代表チームの２連覇に貢献したほか、橋本大輝選手が男子個人総合で大会４連覇という快挙を成し遂げました。

なお、当中間連結会計期間において、連結子会社における投資先会社保有の資産売却に伴う特別分配を受領したことにより、特別分配金307百万円を特別利益として計上しております。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は24,387百万円（前年同期比0.4%増）、経常利益は1,383百万円（前年同期比44.8%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は1,172百万円（前年同期比102.9%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,191百万円増加し、43,475百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加等により流動資産が1,373百万円増加したものの、敷金及び保証金が減少したこと等により投資その他の資産が162百万円減少したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ170百万円増加し、15,842百万円となりました。その主な要因は、契約負債の増加等により流動負債が471百万円増加したものの、リース債務等が減少したこと等により固定負債が300百万円減少したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,021百万円増加し、27,633百万円となりました。この結果、自己資本比率は63.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,537百万円増加し、7,896百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、2,455百万円の収入（前年同期は1,416百万円の収入）となりました。これは、税金等調整前中間純利益1,696百万円、契約負債の増額1,143百万円等によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、426百万円の支出（前年同期は899百万円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出880百万円等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、524百万円の支出（前年同期は411百万円の支出）となりました。これは、長期借入金の返済による支出116百万円、配当金の支払額224百万円等によるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の業績予想につきましては、本資料公開時点において、2026年５月13日の決算短信で発表しました通期連結業績予想に変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,359	7,896
売掛金	2,107	1,952
商品	233	256
貯蔵品	50	55
その他	1,000	963
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	9,748	11,122
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	35,738	36,050
工具、器具及び備品	6,365	6,366
土地	8,614	8,739
リース資産	6,127	6,123
その他	86	170
減価償却累計額	△36,570	△37,055
有形固定資産合計	20,363	20,395
無形固定資産	469	418
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,200	1,178
敷金及び保証金	9,900	9,752
その他	647	654
貸倒引当金	△46	△46
投資その他の資産合計	11,702	11,539
固定資産合計	32,535	32,353
資産合計	42,284	43,475

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	104	111
１年内返済予定の長期借入金	232	232
契約負債	2,728	3,885
賞与引当金	467	504
未払法人税等	684	629
その他	4,690	4,015
流動負債合計	8,908	9,379
固定負債		
長期借入金	426	309
リース債務	3,482	3,259
退職給付に係る負債	105	101
資産除去債務	2,133	2,148
その他	617	643
固定負債合計	6,763	6,463
負債合計	15,671	15,842
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,261	2,261
資本剰余金	2,273	2,273
利益剰余金	22,313	23,262
自己株式	△623	△623
株主資本合計	26,224	27,173
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63	84
為替換算調整勘定	324	375
その他の包括利益累計額合計	387	460
純資産合計	26,612	27,633
負債純資産合計	42,284	43,475

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	24,301	24,387
売上原価	21,425	21,051
売上総利益	2,876	3,336
販売費及び一般管理費	1,704	1,778
営業利益	1,171	1,558
営業外収益		
受取利息	19	37
その他	12	10
営業外収益合計	31	48
営業外費用		
支払利息	243	221
その他	4	1
営業外費用合計	248	223
経常利益	955	1,383
特別利益		
特別分配金	－	307
資産除去債務戻入益	24	2
受取立退料	－	228
特別利益合計	24	538
特別損失		
店舗閉鎖損失	－	77
減損損失	73	97
支払立退料	－	50
特別損失合計	73	224
税金等調整前中間純利益	906	1,696
法人税、住民税及び事業税	262	465
法人税等調整額	65	58
法人税等合計	328	523
中間純利益	578	1,172
親会社株主に帰属する中間純利益	578	1,172

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自　2025年４月１日 至　2025年９月30日)	当中間連結会計期間 (自　2026年４月１日 至　2026年９月30日)
中間純利益	578	1,172
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	21
為替換算調整勘定	△112	51
その他の包括利益合計	△102	72
中間包括利益	475	1,245
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	475	1,245

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	906	1,696
減価償却費	731	720
減損損失	73	97
賞与引当金の増減額（△は減少）	43	37
支払利息	243	221
店舗閉鎖損失	－	77
未払金の増減額（△は減少）	△192	△519
契約負債の増減額（△は減少）	163	1,143
特別分配金	－	△307
受取立退料	－	△228
支払立退料	－	50
その他	90	49
小計	2,058	3,038
利息の支払額	△243	△221
店舗閉鎖に伴う支払額	△160	△80
法人税等の支払額	△264	△510
受取立退料の受取額	－	228
支払立退料の支払額	－	△50
その他	27	51
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,416	2,455
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,049	△880
特別分配金の受取額	－	307
敷金及び保証金の差入による支出	△0	△33
敷金及び保証金の回収による収入	232	182
その他	△80	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△899	△426
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	400	－
長期借入金の返済による支出	△326	△116
配当金の支払額	△280	△224
その他	△204	△183
財務活動によるキャッシュ・フロー	△411	△524
現金及び現金同等物に係る換算差額	△61	31
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	45	1,537
現金及び現金同等物の期首残高	5,379	6,359
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,424	7,896

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。